

2005年9月20日

あの世にも「パソコン」を手にも！

「団塊世代の葬儀観」調査（男性400人）

㈱くらしの友

時代の流れを作ってきたといわれる団塊の世代ですが、最近では2007年問題などこの世代が60歳の定年を迎え、退職を始めることによる社会的な影響が大きくクローズアップされています。いつの時代も何かと話題の多い年代ですが、人生のひとつの区切りを迎えるこの世代の考え方、生き方もとかく注目されています。

その団塊の世代が自分自身の葬儀についてどのように思っているのでしょうか。

冠婚葬祭互助会の㈱くらしの友〔本社：東京都大田区西蒲田8-3-1、社長：伴 良二〕は、「団塊世代の葬儀観」のテーマで彼らの心の内を聞いてみました。

なお、今回の調査は2004年9月の団塊世代の男性（400人）、2005年3月の団塊世代の女性（383人）の「葬儀観」調査に次ぐ3回目の調査で、昨年引き続き男性400人を対象に調査を実施しました。

< 要 約 >

葬儀を考えている人は72%、しかし形態は多様化（2P）

葬儀は「家族葬」「身内葬」が多数（3P）

「奥様はご自由に！」…妻へのメッセージ

「再婚してもしなくても構わない」が83%（4P）

葬儀費用を「準備している」と思っている人は57%…でも大丈夫？（5P）

4人に3人は葬儀費用「200万円未満」（6P）

まだまだ考えるには早い遺言のこと（7P）

「遺産を残す」を「今は考えてない」が半数以上（7P）

葬送曲は「イエスタディ」を筆頭にビートルズナンバーが全体の8%！（8P）

あの世にも「パソコン」を手にも！（9P）

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします

㈱くらしの友 経営企画部

原田、三菊^{みつほし}

03-3735-5357（直）